

災害復旧効率化支援システム Photg-CAD 講習会

社団法人高知県測量設計業協会 技術委員会

2011年2月10日(木)13時より南国市の南国オフィスパークで、財団法人日本建設情報総合センター(JACIC)と社団法人高知県測量設計業協会(高知県測協)の共催による災害復旧効率化支援システム Photg-CAD の講習会の講習会が、高知県測協から33名、社団法人高知県建設技術公社から2名の参加者があった。

災害復旧効率化支援システム Photg-CAD とは、デジタルカメラを用いた写真測量技術とCADを融合させ、現地の調査・測量・設計・積算の一連の作業をシステム化することにより、災害査定設計書の作成業務の効率化を図る目的で JACIC が開発し、販売しているソフトである。

JACIC 本部のシステム高度化研究部から瀧口主任研究員と垣内主任研究員が、また JACIC 四国センターから松尾センター長と神内氏の4名にお越し頂き、現場写真の取り方、CAD 横断図作成、平面図作成、査定設計書作成及び朱入れ、野帳作成の仕方などをパソコンを操作しながら学んだ。



開会の挨拶をする高知県測協会の右城技術委員長



講習会の講師とインストラクターの皆様



JACIC の松尾四国センター長による司会



Photg-CAD の概要についての説明



写真撮影用のターゲットマーカー



対岸からデジカメで写真撮影



南国オフィスパークの隣の国分川の堤防で、
3班に分かれて横断測量位置を決める。



撮影した写真をパソコンに取り込む



ターゲットマーカーを設置



パソコンを操作しながら、CAD 横断図作成、
平面図作成、査定設計書作成及び朱入れ、
野帳作成の仕方などを学んだ。